

藤枝中学校区小中一貫教育 キャッチフレーズ

『はばたけ！ふるさとの誇りを担う子どもたち』

育てたい子ども像

- ふるさとを大切に思う子ども（郷土愛）
- 笑顔であいさつができる子ども（探求）

- 自分で考え行動する子ども（自律）
- 誰にでも優しくかかわる子ども（協調）



学校教育目標 **たくましく（自立）なかよく（共生）**

学校重点目標 『三方よしを執行する子』

学びづくり部

心づくり部

研修テーマ：「三方よしの授業」

目指す子ども像：「心をカタチにする子」

- 重点：
- 洗練された「問い」の追求
  - 自己決定する場の設定
  - 誰一人取り残さない授業

自分で考え、選択し、挑戦を繰り返しながら、たくましさの豊かさをもって成長する

自分よし

【自己決定】

- 重点：
- 子供が自ら考え判断し、活動する場の設定
  - 学級活動の充実
  - 過去・現在・未来を見通した子供理解

- 確かな学力の育成：子供が学ぶ「聴く・語る」
- 共に学び合う学習集団の形成：授業像に向かい、学び合うあたたかな学級づくり
- 道徳教育の充実：考え議論する、「本音・葛藤」
- 特別支援教育の充実：UDを意識した授業づくり

場を考え、人と人とのつながりを大切に、みんなが支え合うあたたかな環境づくりに貢献する

みんなよし

【あたたかな環境】

多様性を認め、相手の気持ちを尊重し、相手への感謝や思いやりの心をもつ

相手よし

【感謝・思いやり】

- PDCA 4つのステップによる自治力の育成（めあて・見通し→挑戦・修正→ふりかえり→工夫・意欲）
- 「あいさつ・そうじ・スリピタ」の充実・発展
- 思いやりの心、豊かな心の醸成

令和7年度数値目標 90%

令和7年度数値目標 80%

- ・学校が楽しい。
- ・一生懸命授業に参加している。
- ・授業がよくわかる

- ・めあてをもって挑戦することができる。
- ・自分で考えて判断し、行動ができる。
- ・ふりかえりを次の活動や行事にいかすことができる。

【学校経営の努力点】

- 安心・安全で幸せな環境づくり
- わかる楽しい授業づくり（授業で人を育てる）
- 地域とともにある学校づくり（小中一貫教育とコミュニティースクールの推進）

【保護者・地域の信頼に応える職員集団】

- 働きがい改革を推進しながら連携、協働を常とし、愛をもって組織（チーム）で対応する職員集団
- 個々の強みを発揮し、自信とやりがいをもった「三方よし」の職員集団
- 学び続け、言葉を磨き、観を磨き、時代にあった教育観・子供観をもち、子供の人権や尊厳を大切にする職員集団

子供はかけがえのない存在  
教師は伴走者

